	No.	56	_	7 事	务事業	名 十四	月 公山口	民館管理	運営	事業 細翼	事務事	業名	十四山公	、民館	管理運営	事業	公的関与	8 3	ノート作	成日	<u> </u>	ヹ成30年	∓6月	29日
		課名			生涯学習 グル					レープ 生涯学習 担当課長名				安井 文雄 シート作成者名				名	鈴木京子					
	事:	* \(\tau \)	八	○ 1 ソフト事業 ○ 3 整備事			と 備事	事業 ◎ 5 が			施設の管理運営			古米用尚十二		☑ 1 [[直営			3 全部	邻委	託		
	争:	業区分		〇 2 施設の建設 〇 4 経常的			E常的						争未进	事業運営方法 ② 2一部委託					□ 4補助等					
		合計画		政策目標 4 人が輝き文化が薫る						とみ		実	施計	-画	事業の開始・終了									
	総			施策項目 生涯学習社会の形成					成				〇 1 ii	亥当			年度	<mark>そ ~ 平成 年度</mark> ☑ 期間				期間記	没定7	なし
				主要施策生涯学習関連施設の整					の整備	備充実·有効:	活用		● 2 ∄	丰該닄	当	±⊟ +bn ≥	改写主人四山以及 <i>较多周</i>							
	個別計画		画													仅炒少	<mark>根拠法令等</mark>							
		事業の 目的		対象(誰を・何を)											意図(と	ういう状態にしたいのか)								
Δ.				市民						市民の社会教育の振興及び生活の向上を図ります。														
PLEZ	事業の 内容			施設の管理運営、利用許可、使用料徴収、その他条例で定められた事業を行います																				
		龙果 指漂		指標名	十四口	山公民	館年間	延べ利	用者	人数					指標名									
	成果指標		(指標設 定の考 え方	考 十四山公民館を利用した年間延					べ人数			人		指標設 定の考 え方							<u>i</u> 1	単 位	
			1	平成	28 年	度	平成 2	29 年度	<u> </u>	<mark>☑成 ※ 年度</mark>	目標	平成	30 年度	2	平成	28 年度	平成	29 年度	平	成	X 年度	目標平	成 (30 年度
				日日	13,831 14,000	実績目標		·,995 ·,000	目標	*	目標	1	5,000		実績目標		実績目標		目標	;	*	目標		
	予2	算費	目	会 計			_	-般会計			款	10	教育費			項 4	社会教育	費		3	2 公民	:館費		
				平成					28 年度決算額					平成	29	年度決算			平		30	年度	予算	額
	直接事業費	国・場		是支出金					_	千							千円							F円
				也方債						千円						千円						千円		
		そ		特定財	源					千円						100	千円	-					96 T	
DO				般財源		7,324 千円															66 T			
U				†(A)		7,324 千円					5,351 千円							32 F						
	1 14	件費 正晴			4 ∇ #					0.416 人						0.416							6	
				貝丄釵:	貝丄剱 : 栓質				2,870 千円							2,870 千円					70 F			
	(E))	臨時	職員工数	·経費	1.	.000 /	\		1,600 千1			1.000	人		1,600		1.	人 000.				F 00	
	全	`体事	事業	費(A+E	3)					11,794 千1						9,821				-			32 F	

			チェック項目		-	-次評価	一次評価の	の説明	二次評価				
CHECK	必要性	1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。	0	はい	● いいえ	地域の生涯学習の場として必要な施設です。			はい	● いいえ		
		2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。	•	はい	○ いいえ			•	はい	○ いいえ		
		3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	•	はい	○ いいえ]		•	はい	○ いいえ		
		4.	住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較して ニーズを上回るサービスとなっている。	0	はい	● いいえ			0	はい	● いいえ		
	有効性	1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	はい	● いいえ	公民館事業として、あるため有効とは		0	はい	● いいえ		
			事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	•	はい	○ いいえ	めるため有効とはま	i ん'ひい'。	•	はい	○ いいえ		
		3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	•	はい	○ いいえ	1		•	はい	○ いいえ		
		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	•	はい	○ いいえ			•	はい	○ いいえ		
		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っている。	0	目標	に比べて劣っている	社会教育団体の育	成が望まれま	0	○ 目標に比べて劣っている			
	達成度	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていない。	•		上がっていない	す。		•	あまり上がっていない			
		;	目標設定に対して概ね目標を達成している。	0		<u>ニップでいるい</u> 達成している				 概ね達成している			
		· -	目標設定に対して十分に目標を達成している。	0		<u> </u>				・ 概ね達成している 			
	効率性	1	か用にレジア・フェルジウン	•	はい	いいえ	必要最小限の人員	で運営されて	_	はい	○ いいえ		
			効果に比べてコストが高い。			0 0.0%	おり、効率性は群を抜いています。しかし、施設の老朽化及び固 定化された利用状況を見る限り						
		:	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	•	はい					はい	○ いいえ		
		3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	はい	● いいえ	効果は薄い。		0	はい	● いいえ		
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	はい	● いいえ			0	はい	● いいえ		
			一次評価					次評価	M A = T TT				
	評	価点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評 2 1 2 2 D	·価		必要性	与効性 達成原 1 2	度 効率 l	生	統	合評価 D		
	今	後の	○ 拡大·充実	£等		 ○ 拡大·充実		○ 方法改善	善	○ 民間	<u></u> 胃委託等		
	7	向性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ● 廃止/休止	_			統合/終期設定	● 廃止/休	止				
ACTIO							二次評価での指摘	事項(部長の	総括	意見)			
			老朽化した施設と、固定化された利用者での運営となっており、廃止も検 要がある。		十四山公民館は施設の老朽化もあり、施設そのものの存続も含めた見直しが必								
N	の ₁	こめの	施設の老朽化が目立つため、近い将来公民館機能の移転や学童保育、等体育館の確保といったハード・ソフト両面からの総合的な改善が必要となす。また、廃止も検討する。		専用	要と思います。							
	ſ	備考											